

# 東海大学理学部

## 数学科同窓会会報

### 第三号

#### 【巻頭言】

東海大学名誉教授 根本 精司  
数学科の卒業生も昨年度までに3600名を超えたようです。私が数学科の教員になったのは数学科創設まもない1966年4月で、まだ卒業生が出ていなかったことを考えると感慨深いものがあります。

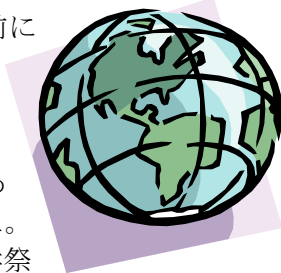
昨年9月には30年程前に卒業したクラスの会合が熱海で開かれ、そこに参加させて頂きました。温泉に浸かりながら旧交を暖める楽しい一夜を過ごしました。

昨年1月3日には建学祭の折りに開催された同窓会総会に出席させて頂きましたが、1968年卒、1969年卒の人が3名ずつや卒業間もない人などいろいろな年次の人が参加していました。出席者が少なかったのが一寸残念ではありましたが、実りある楽しい総会でした。

同じときに共に学んだもの同士で当時を思い出しながらの集りも楽しいものです。しかしまた、年代を超えて青春時代を同じ学科で学んだという繋がりもまた格別のものがあります。青春時代の一時期の心の故郷をどこかで共有しているからでもあると思います。

会報が3号、同窓会賞など数学科同窓会としての目に見える活動が始まって来ました。年度ごとの卒業生同士の結びつきはいろいろな形で行われてきたと思いますが、同窓会自体はこれまで形だけのところがあったように思います。3600余名が年代を超えて結びついていくことは大変ですが、同窓会がその役割を担って動き出しているということは楽しみであり、また大いに期待もしています。

会報を通して数学科の現状、様々な年次の卒業生の情報、同窓会の状況などが全同窓生に伝えられることによって、卒業年次を超えた結びつきが一層強められることにもなるでしょう。数学科が送り出した卒業生達がしっかりと繋がっている、そのような同窓会の存在は数学科にとって心強



い支援でもあります。

1月3日には多くの卒業生の皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

#### 【数学科同窓会に寄せて】

東海大学理学部数学科主任教授 田中 實  
本学数学科同窓会が活発に活動されていることに対してお喜び申し上げます。また今回同窓会誌に、寄稿する機会を与えていただき光栄です。

4年前(2004年)に理学部創設40周年を迎えることができたのは感無量でした。私は、30年前に東海大学に勤務し始めましたので、勤め始めの頃は、数学科が設立されて未だ13年しか経っておらず、今から思えば、出来立ての学科だったわけですが、当時は、そのように考えたことはありませんでした。

現在は、本学卒業生の中から、優秀な研究者が育っていますが、その頃は、優秀な研究者を育てることは、夢のまた夢のような状況でした(今なら、研究者を目指す卒業生も珍しくありませんが、その当時は、良きお手本となる卒業生がいませんでしたので、我々が研究者になるように勧めても当人にとってはとんでもない夢で、まさに雲をつかむような話であったわけです)。

数学科のために特に貢献された山口勝先生(当時は、情報数理学科所属、現在は、数学科教授)をここで紹介します。山口先生は、私にとっては、良き先輩で、教育や研究に関する色々な相談事をしました。山口先生は、図書委員として、数学の雑誌のバックナンバーを取り揃え、有名な雑誌は、過去100年以上に溯って揃えてくださいました。東海大学の図書館の雑誌が充実しているのは山口先生の貢献が多大です。先生の育てられた研究者は、現在世界的に活躍されています。数学科のために大いに貢献され、良き伝統を創られたパイオニアの一人だと思います。

1997年5月に、タイの大学(モンクット王工科大学、以下略して、KMITL)から2人の研究者が数学科を訪問し、約1ヶ月間滞在したのが、KMITLとの交流の始まりです。1999年に土井誠先生がKMITLにJAICAから派遣され、約1年間タイに滞在された。

今年の9月には、KMITLから来た留学生が本学の大学院

(数学コース)で始めて、理学博士号を授与され

ることになった。この留学生の指導をされたのが山口先生である。本学工学部と KMITL との交流は 40 年以上の長い歴史があるが、数学科にとっては、タイ王国初の日本の理学博士号授与となるので、非常に喜ばしいことである。最後に、本学数学科の今後の発展を数学科教職員一同期待します。

### 【活躍する卒業生】

「63 歳 今も青春」

昭和 39 年度 理学部 数学科 小山 宗彦  
(昭和 43 年 3 月卒業)

大学卒業後、就職した JA 共済関連一筋での勤めを終えサンデー毎日の暮らしに生きがいを見出し、青春を維持したいと思っています。

この歳になって「青春」なんて、アホなことを言うなど叱られるかも知れません。しかし『青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいうのだ。歳を重ねるだけでは、人は老いない。理想を失うときに初めて人は老いる』とサミエル・ウルマンは述べています。

小生今、第 3 の人生に突入して新しい理想(目標・夢)を追い続け、いつまでも青春を維持できればと思っています。

### ～50 代半ばでホノルルマラソン初挑戦～

50 歳過ぎた頃から不健康極まりない生活で次第に太りだし、今でいうメタボで毎年のように入院、手術を繰り返していました。

このころからスポーツジムに通い始め、70kg 近くあった体重もすこしずつ減りだして、現時点では 58kg 前後へと健康体そのものです。

マラソンのきっかけは、30 年勤続表彰での特別休暇と 30 万円の旅行券で夏の海外旅行計画していたところ、その夏も手術入院してしまい、冬に暖かなハワイ旅行に変更しました。

そこで 12 月に「ホノルルマラソン」があることを知り、記念旅行でもあるため是が非でも初挑戦することを決め、9 月半ばの退院早々から練習を開始しました。マラソン初挑戦は、膝が痛くて走っては歩きまた走りの繰り返し、5 時間は切ったものの散々な結果でした。

### ～1 歳刻みランキング～ 連続登場へ

その後の海外マラソンは、ホノルル 5 回、マウイ、ゴールドコーストに参加、年代別でマウイ優勝、ホノルルでは 2 回の入賞、初挑戦から 1 時間半ほどタイムの短縮を見るまでとなりました。これからの目標は、毎年度発表される「フルマラ

ソン 1 歳刻みランキング」で、上位 100 位内に常時登場したいと思っています。



このランキングが開始されて昨年度が第 4 回、62 歳で第 18 位、3 時間 21 分は第 1 回 59 歳時の第 53 位からタイムと共に上昇しているの、いつかはトップ 10 (テン) 以内と夢を持ち続けていきます。

### 「大学時代の思い出」

東京都立世田谷泉高等学校長 安田 健  
私は、昭和 48 年に入学いたしました。この当時は、理学部数学科基礎数学専攻でした。

大学時代の思い出をいくつか紹介したいと思います。

4 年間で特に記憶に残っているのは、あまり勉強をしなかったことだと思います。

まずは、クラスコンパを企画しました。第 1 回目は、鶴巻温泉の江戸勝で行いました。クラスのかんりの学生と多くの先生方に集まっただき楽しいひとときを過ごしました。その後も 4 年間で何回か行いました。今でも、小田急線で鶴巻温泉を通過すると、江戸勝をさがしてしまいます。随分きれいになりましたね。私たちがよく利用したからでしょうか。

他には、数学の授業をつぶしてのソフトボール大会、鎌倉へのクラス遠足、何人かの先生方のご自宅にもお邪魔しました。先生が留守の時にもお邪魔をし、奥様にご馳走になったこともありました。

最後には、卒業アルバムの作成と謝恩会もしました。

勉強は、少しはしました。4 年次には、布川正巳先生のゼミで、Fulton の“Algebraic Curve”を勉強しました。よく、ゼミの前には、ゼミ生で集まり、予習の勉強会をしました。先生のゼミは、

厳しく、問題によっては、簡単には教えてもらえず、10時間以上立たされたこともありました。今にして思えば、すべて良い思い出です。

#### 【同窓会の活動状況】

同窓会の運営、活動状況についてご報告させていただきます。毎年、の学位授与式当日には数学科同窓会の紹介を行い入会の案内を行っております。その時に、山田同窓会長より数学科同窓会賞および副賞の授与を行っています。在学中、クラスをまとめた功績で先生に推薦を頂き選出をしています。

数学科同窓会の会報は2007年3月に創刊し年一回の発行でスタートいたしました。2007年度は編集委員会の努力により11月3日の総会に合わせて第二号も発行しました。

数学科同窓会の設立は遡ること1989年11月です。従いまして来年の2009年は設立20周年の記念すべき年になります。設立20周年記念の行事に向けて準備を進めていきたいと思っております。会の基本は昔懐かしい同期の友や先輩後輩や恩師との再会にあると考えます。さらに進めていくと在校生との交流もあると思っております。そのためにも多くの参加者が集えるように工夫をしたいと考えています。

数学科同窓会の会員数は

2008年4月現在：3596名です。



#### 【卒業生の一言メッセージ】

初めまして、小職は89年度卒業生(杉田ゼミ)の礒部と申します。大分、時日が経ってしまいましたが、先般頂戴した同窓会のご案内に会報が創刊されるとの告知を拝見いたしました。

宣伝めいた内容では有りますが、幸運にも学術書を共著で出版することが出来ましたので、会報の”埋め草”原稿にでもして頂ければと考えメールさせて頂きました。数学科卒業生の多くが従事している情報処理に関する内容ですので、参考にして頂ける方も居られるかと愚考する次第です。

IT投資マネジメントの発展—IT投資効果の最大化を目指して(2007, 白桃書房)

共著者が多いので小職の氏名がネットなどでは表示されませんが第10章を執筆しております。

現在、小職はコンサルタントの傍ら、経営情報学会を中心に研究活動をしており、その経緯で経

済産業省の懇談会などに参加しております。同窓会会長様に於かれましては、活発な活動にご尽力下さり陰ながら感謝しております。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

(株)オーグス総研勤務 礒部 大より)

#### 【卒業生のひとりごと】

数学科で良かったのか?

高校生時代には数学が不得意で、むしろ文系科目の方の出来が良かった。

(へそ曲がりなので)それが悔しくて、数学科を志望した。

卒業することができないという危険性を考えなかったのだろうか?

今頃になって、あまりにも無謀であった恐怖すら感ずる。

苦手あるいは不得手な、お仕事あるいは日常の場面において、むしろウェルカムになることができる。

ちょっとだけ悔しく、

なんでだろうと考えながら、

大好きで得意になれるように・・・

(笑顔で) みなさん! ありがとうございます。

匿名希望



#### 【事務局便り】

数学科同窓会の会報は同窓会の運営状況や東海大学の話題など、同窓生にとって有意義な情報発信できればと思っております。興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。卒業生の一言メッセージを募集します。原稿をお届けください。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下の連絡先にお問合せください。

数学科同窓会に関するお問い合わせも、下の連絡先までお寄せください。E-mailでお待ちしています。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117

東海大学理学部数学科同窓会事務局

事務局長：原田 三行 (70年度卒)

e-mail：zharada@tokai.ac.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円(何口でも可)

を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

口座番号：10200-25747091  
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

(2007年度卒業生) 1口：阿部 雄太、安藤 晴貴、池谷 利治、井上 あずさ、今井 聡志、岩永 侑子、植田 理美、内田 雄斗、遠藤 恵美、小倉 智史、風間 喬也、勝畑 豪、加藤 充宏、鎌田 浩平、亀井 泰高、國吉 長朗、後藤 陽介、小橋 至、小林 史典、駒澤 啓太、近藤 剛史、下田 秀樹、鈴木 麻美、鈴木 このみ、鈴木 聡子、田寄 裕一、塚崎 彰仁、野澤 ちひろ、塚原 由佳、永田 秀晃、野原 博三、野本 あや子、圖師 祐子、長谷 光範、前田 理紗、張江 庸太郎、宮代 和輝、宮武 綾香、村林 璃紗、矢島 千里、吉岡 準  
(2007年) 5口：星野 幸雄、金子 啓子、山崎 則夫、3口：藤井 達也、1口：吉沢 久紀、五十嵐 克明、西川、紀子、清水 江、藤木 崇、大村 綾子、安藤 稔、(2008年) 2口：小林 義明、1口：岡本 雅史、塩塚 修、菅原 敏彦、鈴木 隆之

ありがとうございました。

【編集後記】

団塊の世代と言われ荒波にさらされてきたことを振り返ってみたい。ベビーブームに始まり、何となく競争心が芽生え、変革の時代だったと思う。年代は少し前後するかと思うが思いつくままキーワードをあげて見たい、街頭テレビ、ダッコちゃん、フラフープ、新幹線、東京オリンピック、大阪万博、大学紛争、沖縄返還、NTTの民営化、国鉄の民営化、バブル崩壊、石油ショック、Windows95、情報教育、少子化、メガバンク、郵政の民営化、高齢化、医療制度改革、年金問題、大学全入時代、生き残り、老老介護など様々な問題など話題満載である。還暦を迎えて悠々自適な暮らしを夢見てここまで来たが、まだまだ大きなうねりが続くようである。

追伸：隙間時間を作って会報の編集に参加し、第3号が出来上がったことは嬉しい限りである。みなさん原稿の執筆依頼に対し、快く受けていただき感謝です。(み)

【2008年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎	主任 教授	タカ ミル	田中 實
湘南校舎	教授	アカツ トヒロ	赤松 豊博
湘南校舎	教授	イト タツオ	伊藤 達夫
熊本校舎	教授	イダ ツネサ	今田 恒久
熊本校舎	教授	イシタ タシ	岩下 孝
湘南校舎	教授	ウチム ケイスケ	内村 桂輔
清水校舎	教授	ウラベ マサツグ	占部 正承
湘南校舎	教授	オオタ マサミ	太田 雅己
高輪校舎	教授	シバタ マサリ	柴田 正憲
札幌校舎	教授	シマダ ヒデオ	島田 英夫
湘南校舎	教授	スキタ キミオ	杉田 公生
湘南校舎	教授	トイ マコト	土井 誠
湘南校舎	教授	カガセ テルオ	永瀬 輝男
沼津校舎	教授	カナム アキヒロ	中村 昭宏
阿蘇校舎	教授	ナラ チェ	奈良 知恵
清水校舎	教授	ネイ マコト	根生 誠
熊本校舎	教授	ハシ ヘイマ	林 平馬
清水校舎	教授	フジイ ノブヒコ	藤井 信彦
湘南校舎	教授	ホリエ ケニアキ	堀江 邦明
湘南校舎	教授	マツヤマ トキオ	松山 登喜夫
湘南校舎	教授	ヤマグチ マサル	山口 勝
湘南校舎	教授	ワタナベ ジュンゾウ	渡邊 純三
清水校舎	教授	ワタナベ シン	渡邊 信
沼津校舎	准教授	モリ ヤスオ	小森 康雄
湘南校舎	准教授	シマ アキコ	志摩 亜希子
清水校舎	准教授	ホノ キヨシ	細野 潔
湘南校舎	准教授	マエダ ヨウイチ	前田 陽一
沼津校舎	准教授	マツダ カツミ	松田 克己
湘南校舎	准教授	ヤマモト ヨシロウ	山本 義郎
高輪校舎	講師	キタ ケンシ	貴田 研司
湘南校舎	講師	ツジ タカエ	都地 崇恵



【発行】

発行日 2008年11月3日  
編集 数学科同窓会会報編集委員会  
発行人 山田 正和  
発行所 東海大学理学部数学科同窓会  
〒259-1292  
神奈川県平塚市北金目1117